

経済概況（エミリア＝ロマーニャ州）

2022年8月
在ミラノ総領事館

基礎データ

* 括弧内の％は伊全体に占める割合

- 面積：22,445km²（7.4％） ●人口：4,431,816人（7.5％、2022年）
- 名目GDP：1496億3300万ユーロ（9.0％、2020年）
- 1人あたりの名目GDP：33,614ユーロ（伊27,820ユーロ、2020年）
- 経済成長率：+7.6％（伊+6.6％、2021年速報値）
- 失業率：5.5％（伊9.5％、2021年）
- 輸出額：724億4048万ユーロ（14.0％、前年比+16.9％、2021年）
- 主要輸出品目：一般製造用機械、道路用車両、特殊製造用機械、非金属鉱物製品、衣類、鉄・鋼鉄、電気機器、医薬品 出典：伊国立統計局（ISTAT）及び伊中銀）

対日貿易

- 対日輸出：24億7605万ユーロ（1タバコ類* 2道路用車両 3衣類 4一般製造用機械）
- 対日輸入：3億3490万ユーロ（1道路用車両 2エンジン類 3一般製造用機械 4鉄・鋼鉄）（*対日輸出のうち13億6280万ユーロを占める）（2021年、出典：ISTAT）

経済動向

<2022年第1四半期>（エミリア＝ロマーニャ商工会議所レポートより抜粋）

- 2022年の経済成長率は+2.4％と予測されており、戦争の影響により年始の予測+4.1％から1.7％の下方修正をされた。2022年は物価上昇、生産チェーンが直面している困難やウクライナにおける戦争の影響もあり、経済活動の回復は産業分野では停滞し、サービス業分野でも非常に抑制されたものになると見られる（経済成長寄与率+3.0％）。建築業分野は2021年の同+22.1％のような大きな回復とはならないものの、建築物改修補助政策や公共投資計画による恩恵を受けて同+8.6％と堅固な伸びが予測されている。
- 2021年は就業率は上昇し失業率は下降したが、2022年には求職者の増加ペースが就業率の上昇ペースの+0.8％を上回る見込みのため、失業率は5.6％に微増すると見られる。しかし、来年以降再び下降に転じる見込み。
- 2021年の同州輸出額は金額ベースでコロナ前の水準を上回った。2022年第1四半期の輸出額は195億8200万ユーロと伊全体の輸出額の14％を占め、前期比+12.3％、前年同期比+12.3％、2019年同期比+13.5％と更に増加している。輸出額増加の主な要因としては天然資源と半加工品が大きく値上がりしており、それが輸出品生産価格に影響していることが大きい。

